



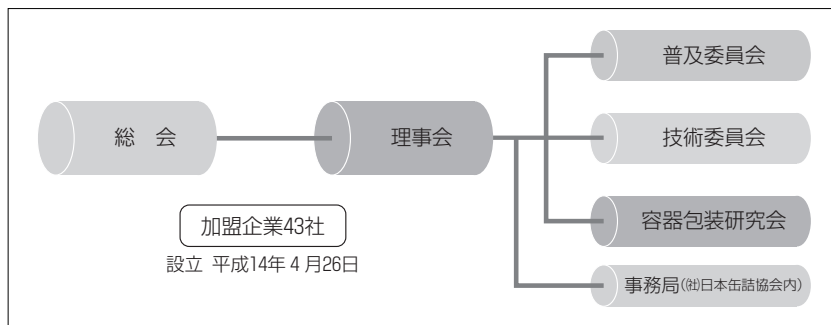
島 家時  
日本介護食品協議会 会長

いつまでも元気で暮らしたいと願いつつも、高齢者人口の増加に伴い、介護を要する方々が年々増加しております。介護食品の必要性が高まる中、利用者の不便を解決することを目的に、私達は2002年に日本介護食品協議会を設立しました。

協議会では食べやすさ、使いやすさに配慮した介護食品の自主規格を制定し、統一された規格を用いると共に、商品にUDF（ユニバーサルデザインフード）のマークを表示することで、その普及啓発を図っております。現在、市場は順調に拡大しており、登録商品も499品目（2010年4月末現在）となりました。今後はさらに在宅での介護にシフトしていくことが予想されます。UDFの自主規格には安心して、美味しく、楽しい食生活を過ごしていただきたいという想いが込められております。ますます増加すると思われる利用者の皆様の生活に少しでもお役にたてるように努力してまいります。

この度、協議会の活動状況を本誌に掲載していくことになりました。このレポートが協議会並びに業界の更なる発展に繋がることを願っております。

日本介護食品協議会 組織図



## 「日本介護食品協議会」について

### — 介護食品の規格を統一 —





我が国は「超高齢社会」をむかえましたが、以前より各食品メーカーでは「介護」シーンでの利用を考慮した食品の開発や販売を行ってきました。しかし、当初の「介護食品」はメーカーによって製造に関する規格や表示方法が異なるため、利用者の不便が指摘されていました。

そこで、これら利用者の不便を解消するため、食品

メーカーを中心に、素材や容器など多くの企業が集まり、『日本介護食品協議会』を設立（2002年4月）し、介護食品の「食べやすさ」「使いやすさ」などについて「統一規格」を制定しました。協議会では、その規格に適合する商品をすべての人が食べやすいことから「ユニバーサルデザインフード」とし、以降、次々と「ユニバーサルデザインフード」のロゴマークを表示した商品が誕生、現在もその数は増え続けています。

介護食品業界には、現在、本協議会が業界自主規格と

ユニバーサルデザインフード区分表

区 分	 ユニバーサルデザインフード 区分1 容易にかめる	 ユニバーサルデザインフード 区分2 歯ぐきでつぶせる	 ユニバーサルデザインフード 区分3 舌でつぶせる	 ユニバーサルデザインフード 区分4 かまなくてよい
かむ力の目安	かたいものや大きいものは やや食べづらい	かたいものや大きいものは 食べづらい	細かくてやわらかければ 食べられる	固形物は小さくても 食べづらい
飲み込む力の目安	普通に飲み込める	ものによっては 飲み込みづらいことがある	水やお茶が 飲み込みづらいことがある	水やお茶が 飲み込みづらい

して運用している「物性に配慮した一般の加工食品」としての「ユニバーサルデザインフード」のほか、国が許可を行う「特別用途食品」に「嚥下困難者用食品」があります。この「特別用途食品」制度は平成21年4月以降改正され、これまで「高齢者用食品・そしゃく困難者用食品」とされていた分類は、実質的に「ユニバーサルデザインフード」の運用に委ねられた経緯があります。

協議会では、「ユニバーサルデザインフード」をすべての利用者に安心して使っていただくために、関連する情報の発信や普及啓発活動、自主規格の整備などを行い介護食品業界の健全な発展を目指すとともに、みなさまの食べる楽しみを通じてQOL（クオリティーオブライフ・生活の質）の向上に貢献していきたいと考えています。

「ユニバーサルデザインフード」とは

日常の食事から介護食まで幅広くお使いいただける、食べやすさに配慮した食品です。その種類も様々で、レトルト食品や冷凍食品などの調理加工食品をはじめ、飲み物やお食事にとろみをつける「とろみ調整食品」などがあります。

ユニバーサルデザインフードのパッケージには必ずUDFマークが記載されています。これは日本介護食品協議会が制定した規格※に適合する商品だけについてのマークです。お客さまが選び易いよう、どのメーカーの商品にも「かたさ」や「粘度」の規格により分類された4つの区分を表示しています。この区分を目安にご利用に適した商品を安心して選んでいただけます。まずはパッケージのUDFマークをご覧ください。

※日本介護食品協議会会員である食品メーカーはこの規格に基づき商品を製造・販売しています。

【会議、催事等の予定】

6月8日（火）第1回自主規格分科会

7月16日（金）第9回定期総会、平成22年度第1回理事會、記念講演会（演者：藤谷順子氏（（独）国立国際医療研究センター リハビリテーション科 医長））  
於：ホテルメトロポリタンエンドモント（飯田橋）。

【UDF商品登録状況（499品目・4月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	0	2	0	39	41
冷凍食品	56	19	192	7	0	274
常温食品	10	28	92	54	0	184
合計	66	47	286	61	39	499

【会員の異動（4月）】

加入（1社）（株）タカキヘルスケアフーズ  
計43社（4月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階（社）日本缶詰協会内

TEL 03-5256-4801

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>

協力：食生活ジャーナリスト 平川あずさ